

## サプライチェーンのその先を知る報告会

# エクアドル現地報告：「責任ある鉱山開発」の真実

## ～エクアドル、インタグ地方の鉱山開発の現場から～

(写真は「スマホの真実—紛争鉱物と環境破壊とのつながり」から)

今日、原料や部品、労働力を調達する企業のサプライチェーンはアジアをはじめ地球規模に広がっており、それらは製品やサービスを通じて私たちの日々の生活とつながっています。そして、そこに人権侵害や環境破壊が起こっていないかが、「ビジネスと人権」の課題として国際社会で広く認識されてきています。

そうしたサプライチェーンの現場の一つである南米エクアドルは鉱物資源開発の「最後のフロンティア」として注目されており、エクアドル政府も環境や地域住民の暮らしに配慮した「責任ある鉱山開発」による経済発展を目指すとして、開発を強力に推進しています。しかしその一方で、エクアドル各地で開発への反対の声が上がっています。鉱山開発の現場では今何が起きているのでしょうか。

この報告会では、特に自然豊かな地域であるエクアドル北西部のインタグ地方で、1990年代以来、環境を破壊する鉱山開発に反対し、エコツーリズムやフェアトレードに取り組んできた人々をめぐる最近の動向から「責任ある鉱山開発」の実態をお伝えし、資源を使う側にいる私たちはサプライチェーンの先にある現実とどう向き合っていけばよいのかを考えます。

<b>日時</b>	2018年6月23日（土）18時～20時（開場：17時40分）
<b>場所</b>	ヒューライツ大阪 セミナー室（大阪市西区西本町1丁目7-7 CE西本町ビル8階 ※地図参照）
<b>内容</b>	「責任ある鉱山開発」の真実：エクアドル、インタグ地方の鉱山開発の現場から — 宇野 真介（アジア太平洋資料センター〔PARC〕調査スタッフ） ○ 「スマホの真実—紛争鉱物と環境破壊とのつながり」第3部エクアドル編上映 ○ エクアドル現地報告 ○ 質疑応答

【主催】 特定非営利活動法人 アジア太平洋資料センター〔PARC〕

【共催】 一般財団法人 アジア・太平洋人権情報センター〔ヒューライツ大阪〕  
特定非営利活動法人 関西NGO協議会

\*本報告会は独立行政法人環境保全機構 地球環境基金の助成を受けています。

【参加費】 無料

【参加申込】 参加申込みフォームからお願いします。

<http://www.parc-jp.org/guidance/form06.html>

(PARC、ヒューライツ大阪、関西NGO協議会の各ウェブサイトに参加申込みフォームへのリンクがあります)

【問合せ先】 アジア太平洋資料センター〔PARC〕  
東京都千代田区神田淡路町1-7-11 東洋ビル3F  
TEL.03-5209-3455  
E-mail :office@parc-jp.org

